荒川区立南千住第二幼稚園

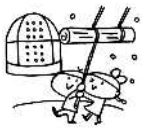
12月 園だより

平成 30 年 11 月 30 日

荒川区立南千住第二幼稚園

園長　　立石　晃子

ホームページ　http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/ youchien/ minamisenju2/



古典芸能「能」の世界に触れる

園 長　立 石 晃 子

11 月 9 日（金）、オリンピック・パラリンピック教育推進事業の一つとして、観世流能楽師重要無形文化財総合指定保持者　松木　千俊様をお迎えして、親子能楽教室を開催しました。

能楽は室町時代より 600 年以上受け継がれてきた古典芸能です。古くは奈良時代、大陸から渡ってきた「散楽」という芸能が能の源流とされ、室町時代に入り、観阿弥が将軍足利義満の支援を受け芸術的に高め、その息子の世阿弥が現在の「能楽」の芸術性を確立しています。

松木先生からは、様々な表情の面の紹介とともに、面は檜でできていて、木を彫ることを「面を打つ」ということ、面を掛ける（顔に面をつける）ときには一礼することなど、面についてのご説明をいただきました。また、現在使われている面は江戸時代に作られたものが多く、第二次世界大戦中は燃えないように地中に埋めたというご苦労があったとのお話もうかがいました。

また実際に子供たちは締太鼓や扇子に触れさせていただきました。締太鼓には中央部分に 5 センチくらいの鹿の皮でできた部分があり、その部分を叩くことを教わり、慎重に叩いていました。実際に触れたことで、とても興味をもつお子様もいました。

そして、長刀をもっての舞を披露していただきました。舞の時間、遊戯室の空間はしんと静まり返り、優雅で緊張感溢れる演技に私は息をするのを忘れるくらい見入ってしまいました。終了後、子供たちからは「神社にいると思った。」「くるっと回転したのがすごかった。」「ジャンプしたときの音がすごかった。」など感想が聞かれ、高尚な舞に魅了され感動した様子がうかがえました。

オリンピック・パラリンピック教育で重点的に育成すべき 5 つの資質の中の一つに、「日本人としての自覚と誇り」（日本の伝統・文化や最新の技術などを学び、世界に発信する力を育てると共に、日本人の規範意識や公共の精神等を学ぶことを通じ、子供たちに日本人としての自覚と誇りを身に付けさせる）があります。今回の親子能楽教室で、子供たちは優雅で高尚な日本の伝統芸能に触れ見入ることで、自然と集中力や緊張感が高まり、場が静まり返ったことから、集中力や緊張感といった心もちがおのずと規範意識や公共の精神につながったように感じました。

年末年始、是非ご家庭でも、長い時間をかけて培われた日本の伝統・文化に触れ、心豊かな時間をお過ごしください。

二学期も本園の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

楽しいことといっぱい！子供たちの園生活

＜3 歳もも組・りんご組＞

ドキドキだったはじめての動物園遠足、楽しかったよ

11 月は、能楽教室、観劇会、焼き芋会などたくさんの行事を経験しました。そして、クラスに貼られた動物の写真を見て、上野動物園への期待を膨らませ当日を迎えた遠足。大きな口を開けて、草を食べているカバを見て「大きな口だね。むしゃむしゃ食べているね。」と子供たちが自分なりに気付いたこと、感じたことを言葉にしていました。遠足後は、友達と動物の真似をして歩いてみたり、ウサギを作って一緒に散歩をしたりして遊んでいます。空き箱製作では、みんなで作った大きなカバやキリンがクラスに仲間入りしました。戸外では、おおかみさんの鬼ごっこをしたり、みんなでつながってすべり台を滑ったりと、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ始めています。12 月も引き続き、より友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるような、楽しい遊びをたくさん取り入れていきます。そして楽しい行事がたくさんあります。一つ一つの経験を大切にしながら、笑顔いっぱいで２学期を締めくくれるよう援助していきます。

＜4 歳たんぽぽ組＞

自分でできた！みんなにありがとうって言ってもらえるって嬉しいな♡

先日の芋弦リース製作では「これ、幼稚園で咲いていた花！ふわふわしてる！」「こっちはポップコーンの豆！」など、用意した素材を手に取り、感じたことや経験を思い出して話したり「あれ？なんかうまく付かない…。」と付け方を試したり工夫したりしながら丁寧に作り上げていました。

また、学級ではいよいよ当番活動が本格的にスタートしました。特に弁当時にはお当番のやることが多くお当番の子は大忙しですが、その表情はとても明るく、友達に応援されながら楽しんで取り組んでいます。お当番をしてみてどうだったかを聞いたところ、「大変だけど自分でできたのが楽しかった。」「お茶を配った時にありがとうって(友達が)言ってくれて嬉しかった。」などの声を聞くことができました。今後も、友達との繋がりや自分への自信を感じられるようにしていきます。

＜5 歳ばら組・ひまわり組＞

秋も楽しいことがたくさん！劇遊びも頑張るぞ！

11 月はアートの日や親子能楽教室、観劇会、汐入文化祭、焼き芋会、汐入小学校での展覧会見学など、芸術の秋や食欲の秋を感じる楽しい行事がたくさんありました。また、ニコットタイムにも取り組み、過ごしやすい気温の中でたくさん体も動かして遊びました。アートの日では自分なりにイメージを膨らませながら活動に取り組み、作品を見せ合うことで自分の工夫したところを発表したり、友達の作品の素敵なところに気付いたりすることができました。ニコットタイムでは担任や友達の動きを見ながら自分なりに体の動かし方を意識して取り組んだり、友達と作戦を考えたり、力を合わせて活動に取り組み、友達との繋がりを感じながら遊びました。

今は、劇遊びの会に向けて、学級で話し合いを重ねる中で自分の考えを伝えたり、友達の考えを受け入れたりしながら劇遊びに取り組んでいます。共通の目的に向かって役割を意識し、力を合わせることで達成感や充実感を味わい、学級のつながりがさらに深まるように援助します。